

## 令和5年度 主な教育活動

### 1. 入学式、始業式

4月8日(土)、森下町キャンパス8階マルチメディア大ホールにて挙行。感染症対策のため、新入学生保護者、在校生は別教室に分かれ、オンラインで参列した。

### 2. 新入学生 御殿場宿泊研修

学内におけるオリエンテーションを経て、4月12日(水)～14日(金)、新型コロナウイルス感染症対策を十分施した上で、新入学生全員が御殿場市にある国立青少年交流の家で2泊3日の宿泊研修に臨んだ。体調不良等は皆無で、一人も欠けることなく、全員揃って全ての日程をこなすことができた。

箱根でのオリエンテーリング、研修所でのアクティブラーニング(職業のイメージを明確にし、よりよい就職を具現化するためのグループワーク)とその成果発表、礼法、レクリエーション活動等、寝食を共にしながら濃密なスケジュールで活動でき、友情を深めながら、今後の専門学校における学びの目標・目的を明確にすることができた。

### 3. 卒業生を囲む会

(ITゲーム&ロボットシステム学科、音響&映像メディアクリエイイト学科):5月11日(木)

進路指導の一環として、最も身近なプロフェッショナルである卒業生を招き、「職業観」の向上及び「就職意識」の高揚を図るために実施。また終了後には教員と卒業生との間でも情報交換を行い、各分野のニーズ、卒業生が今抱える問題点、母校への提言などを得て、カリキュラム、授業、実習・演習、就職指導に今後反映していく。

### 4. 我道祭(文化祭・学園祭)

文化祭・学園祭 令和6年2月22日(木)、24日(土)、25日(日)

新型コロナウイルス感染症対策を万全に施した上で、第一ひかり幼稚園のみなさん、外部からの来客を受け入れて、無事実施することができた。

#### (1) 電子情報 卒業研究発表会

○御参加講師(順不同)

現代倫理 特別講師 齊藤 照安 先生

オフィスアシタノ 代表 (本学 非常勤講師) 木野 正弥 先生

合同会社モノリズム 代表社員 (本学 教育課程編成委員) 保坂 昇秀 様  
株式会社エスピーエスタくみ 取締役 (本学 教育課程編成委員) 西森 光男 様

○発表テーマと学生メンバー

①「障がい者をターゲットにしたゲーム開発」

ITゲーム&ロボットシステム学科2年

大森 勇之介、坂口 滉一、田中 智大、原田 夏稀

②「外部との共創でWeb開発の流れを学ぶ」(三島市子育て支援サイトの構築)

ITゲーム&ロボットシステム学科2年

阿部 泉咲、江平 和乃子

③「PR動画制作」(ディスカバリーパーク焼津 PR動画)

音響&映像メディアクリエイト学科2年

鈴木 蒼生、小川 真里奈、神谷 成美

④「学生企画Live ~The Place~」(学生によるライブ制作)

音響&映像メディアクリエイト学科2年

内菌 暁音、大石 璃香、後藤 真奈、増田 迅、水沼 奏太、蓑田 侑里

## 5. CAN スカラシップ制度認定学生

今年度、学校生活・フィールドスタディーにおける活動においてリーダーシップを発揮して成果を挙げ、CAN スカラシップ制度に相応しいと判定を受けた学生10名が認定を受けた。

<活動概要>

・両校のスカラシップ学生同士で意見交換会、活動計画会議を実施。企画に携わるだけでなく、活動に積極的に参加。他の学生や両校の活性化に貢献した。

<活動内容>

・静岡の医療・介護・福祉の“わ”フェスタ in 藤枝 6月3日(土)

ステージイベントやブースの企画・運営を実施。イベントを通して、福祉業界の横の広がりを広げるとともに、福祉の専門職を目指す学生の前向きで明るい姿をアピールし、介護に対するイメージ向上を図ることができた。

・静岡県職業教育振興会主催 お仕事体験フェア 6月18日(日)、12月3日(日)

小学生が楽しく、興味もてる内容を電子・福祉で企画。福祉クイズや車いす体験、プログラミングやマイコン操作等を通じて、専門職について学ぶ機会を提供できた。児童たちの真剣な表情に、学生たちも多くの刺激をいただいた。

・フェスタシズウェル2023 8月19日(土)

静岡県総合社会福祉会館シズウェルで開催された県民の日協賛イベントにて、視覚障害者情報支援センターのブース[点字体験コーナー、弱視体験]のボランティアとして参加。

多くの視能訓練士に方と関わるだけでなく、車いすバスケットボールやパラスポーツ体験を通じ、福祉への関心を高める機会となった。

・子ども食堂における「小学生講座」の開講 11月10日(金)

電子・福祉で講座を企画。電子工作教室は台風のため中止となったが、「福祉を知ろう」ゲーム&クイズで、楽しみながら福祉を知る機会を提供できた。

・高校生ICTカンファレンス2023 9月18日(月・祝)

高校生がICTについて知識を深め、これからの世の中の課題解決に有効なICT活用方法を考えるイベントで、静岡県内の高校6校25名の高校生が集まった。電子のスカラシップ生は、各グループディスカッションのファシリテーターを務め、リーダーシップを発揮した。

・福祉のまつり in 清水マリパークイベント広場 9月24日(日)

福祉のまつり実行委員会(清水地域福祉推進センター)主催のイベントに、実行委員として、事前から広報活動や企画・運営会議にも参加した。当日は、N-Cap生だけでなく他の学生もボランティアとして参加し、それぞれのブースで活動を行った。

・第10回介護技術コンテスト in ツインメッセ静岡 11月25日(土)

静岡県介護福祉士会の主催によるイベントで、N-Cap生2名は、コンテストの審査員を任せられ、その他の学生は運営ボランティアとして参加した。

・フードドライブ活動、キャップ回収活動

N-Cap生を中心に、家庭から供出された食品を集め、「フードドライブふじのくに」に提供。またペットボトルキャップを学内や学生・教職員の家庭から集め、NPO法人「世界の子どもにワクチンを」の活動に協力した。

## 6. 資格検定試験の実施

(1) 映像音響処理技術者資格認定試験

(一社)日本ポストプロダクション協会主催 6月4日(日)

(2) 情報活用検定(J検)、ビジネス能力検定(B検)CBT

(一財)職業教育・キャリア教育財団主催

5月25日(木)、6月22日(木)、7月27日(木)、8月24日(木)、

10月26日(木)、11月30日(木)、12月21日(木)、

令和6年1月18日(木)、2月15日(木)

(3) 社会人常識マナー検定 (公社)全国経理教育協会主催 9月23日(土)

## 7. 産学官連携教育プログラム・フィールドスタディー

(1) 静岡県職業教育振興会主催 「おしごと体験フェスタ」

～学生主導による小学生職業体験

6月18日(日) 於 静岡市こどもクリエイティブタウンま・あ・る(静岡市清水区)

・「介護福祉士のおしごと」 総合福祉学科3年 学生4名

介護・介助が必要な場面、福祉の様々なマークの理解、視覚障害の体験、車いす体験 等

・「ITエンジニアのおしごと」 ITゲーム&ロボットシステム学科2年 学生4名

電子部品の名前や役割、ブレッドボードを使って配線・マイコンで制御体験

(2) 人宿学園祭への参加 8月13日(日)

音響&映像メディアクリエイイト学科、子ども心理学科の学生が、静岡大学や鈴木学園の学生とのコラボでイベントに協力。静岡新聞社・静岡放送が企画した「人宿学園祭」(静岡市葵区人宿町)に参加。それぞれ学科の特性を活かした体験型ブースで来客に対応した。

(3) 優生保護法の動画制作

(音響&映像メディアクリエイイト学科・介護福祉学科コラボレーション)

公益社団法人静岡県聴覚障害者協会より依頼を受け、優生保護法に関する動画の制作を行った。

(4) 静岡県職業教育振興会主催 「お仕事体験フェア」

～学生主導による職業体験

12月2日(土)、12月3日(日) 於 アピタ静岡(静岡市駿河区)

・「ロボットエンジニアのお仕事」

・「映像&サウンドクリエイターのお仕事」

## 8. 学生会活動 春季・秋季スポーツ大会

春季 5月2日(火)

安倍川河川敷 男子：サッカー、女子：ドッジボール

秋季 9月26日(火)

「このはなアリーナ」 男子：バスケットボール、女子：バレーボール

学生会の企画・運営によるスポーツ大会を行い、スポーツを通じて学校・学科の枠を越えて交流、友情を深めることができた。

## 9. 東京研修修学旅行

研修先：チームラボ・プラネッツ、東京スカイツリー、スモールワールドズ TOKYO

研修旅行先：築地食堂源ちゃん両国江戸 NOREN 店(両国国技館近く)、隅田川～台場での屋形船、もんじゃストリート(東京下町)、浅草浅草寺

12月19日(火)、20日(水)、2日間にわたって電子情報、福祉医療の2年生学生を対象として東京研修修学旅行を実施した。本来は海外研修修学旅行として、電子情報がアメリカ西海岸、福祉医療がハワイまたはグアムで、米国先端IT・エンターテインメント、福祉・医療・子供施設で研修を行う予定だったが、新型コロナ禍と急激な円安で海外への旅行が困難なため、代替として東京での研修を行った。

SDGsをメインテーマとして、3か所で研修を実施。日本の古き良き伝統にも触れることで、各学科の専門分野におけるレベルアップ、専門性が世の中でどのように活用されるか、更に、視野を

大きく広め、国際社会で活躍できる人材となるべく、研修内容を策定。学内での事前研修・グループワーク（研修のテーマ、研修目的）、東京への研修修学旅行、研修旅行実施後の成果発表会での情報共有と、学生たちにとって掛け替えのない学びと経験をすることができた。

## 10. 文部科学省委託事業

全国の専門学校と産業界、学識経験者のグループによる様々な事業が文部科学省の委託により推進されており、下記事業に本学もメンバーとして参画している。企業からも最新の情報が得られ、教員間でもその情報を共有。学生の教育の場に活かしている。

本学担当：有賀、中村健太郎

### (1) 令和5年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

IT分野DX人材養成のモデルプログラム開発と実証事業

事業主体：(一社) 全国専門学校情報教育協会

### (2) 令和5年度「専修学校における先端技術利活用実証研究」

「最先端技術を利活用したIT人材育成・専門学校の基盤開発事業」

センシングやAI等の最先端技術による安全安心インフラのDX化を推進する人材の育成プログラム

事業主体：(一社) 安全安心社会構築教育協会

・令和6年1月29日(金)、ITゲーム&ロボットシステム学科ロボットシステム研究2年生4名を対象に、実証講座を開講。防災・減災のためのドローン活用について、東京よりCONTROL-UAS FIGHT社の代表、黒澤利光氏が開発したテキストを用いて講義とグループワークを実施。またドローン実機もお持ちいただき、操縦体験実習も行うことができた。

## 11. 教員による産学連携活動等

### (1) 静岡情報産業協会 産学官連携事業

地元企業及び地方自治体等との連携・情報交換を推進するため、本学教員も参画している。

- ・人材育成・教育研修部会 有賀 浩
- ・人材開拓推進部会 中村 健太郎

12月には、本学が主体となり、地元企業スキルニーズ調査を行った。

<アンケート結果より>

#### ①現在～近い将来求められるスキルについて

具体的にサイバーセキュリティ、クラウドエンジニア、バックエンド開発が挙げられた。昨今の業界動向が反映されていると考えられる。

#### ②今後求められるスキル

AI機械学習の専門家、サイバーセキュリティ

#### ③新入社員ほか、若手に求めること

DXやAI化が進んでも、やはりコミュニケーション能力、論理的思考力が求められてい

る。また自ら動ける人が求められている。

求められるヒューマンスキルは時代が変わっても不変だが、今後の技術動向が不透明で、必要な IT スキル、不要となる IT スキルについては、先行きの予測が困難な状況。AI 次第で方向性が大きく変わると予想される。

## (2) 株式会社システムソフィア マイクロマウス研究会への参画

卒業生が多数活躍している株式会社システムソフィアの社員がグループで活動しているマイクロマウス研究会に継続参加。技術面だけでなく、組込み業界の動向や仕事の魅力について情報収集の場とする。

## 1 2. 第一ひかり幼稚園・高等学校との連携

### (1) 城南静岡高等学校 教員・生徒向け 映像制作講座 8月21日(月)

城南静岡高校の教員5名、生徒2名を対象に映像制作の実践的な講座を行った。グリーンバックを使用した背景合成動画をテーマに、学内の機材を活用したレクチャーを行い、映像やエンタメコンテンツについての興味、理解を深めていただくことができた。

### (2) 第一学院高等学校 静岡キャンパス

高校生1, 2年生、引率教員3名が来校 9月7日(木)

高校生たちが今後の進路について研究するため、その一環として本学を訪問。IT, エンターテインメント、福祉、子ども、視能訓練士と、幅広く職業の特色について学んだあと、IT ゲーム系、映像系、福祉系、視能訓練士の4分野に分かれて体験授業を実施。生徒たちは皆熱心に受講し、有意義な時間とすることができた。

### (3) 高校生 ICT カンファレンス 2023 主催：安心ネットづくり促進協議会

9月18日(月・祝) 本学森下町キャンパス 8階 マルチメディアホール

テーマ：今、高校生が考えるデジタルシティズンシップ（情報技術の利用における適切で責任ある行動規範）とは ーデジタルウェルビーイングな社会を目指してー

参加者：6校より25名

テーマに沿って2時間半にわたり高校生がグループで熟議、結果をプレゼンし、相互評価。その中から代表者1名が11月開催される東京サミットに参加。最終的に選ばれた2名の生徒が内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、文部科学省、経済産業省に向けて提言を行う。

本学からCANスカラシップ生の学生2名がファシリテーターとして参加。グループワークにアドバイスしたり、高校生と対話をしたり、よりよい結論に結びつけるための指導を行った。学生たちは視野を広め、コミュニケーション力を一段と高められた。参加した高校生たちに本学を印象付けることができた。

### (4) 静岡情報産業協会との共催で、令和6年2月10日(土)、島田商業高等学校に出張して、同校生徒21名を対象に、AI画像認識プログラミング講座を実施。生徒たちは日頃学ぶプログラミングについて理解を深めることができた。

静岡情報産業協会より、本学に謝礼として120,000円が納入された。

### (5) 第一ひかり幼稚園「ICTキッズ」2月28日(火)

第一ひかり幼稚園 月組の園児 24 名を対象に、タブレット端末、インターネット回線を利用して、絵と音を体験的に楽しむイベントを実施。園児たちが夢中になって楽しむ様子を見ることができた。CAN スカラシップ学生 (IT ゲーム&ロボットシステム学科 2 名、子ども心理学科 2 名) もサポーターとして活躍した。

### 1 3. 教職員研修

(1) オンラインセミナー (株)サーティファイ主催

「指導者向け Web セミナー ～実際の授業実践事例を紹介！

「TechFUL」活用で期待されるプログラミング教育効果とは～」 6 月 13 日 (火)

(2) オンラインセミナー 文化庁主催

「著作権セミナー AI と著作権」 6 月 19 日 (月)

(3) 全国専門学校情報教育協会 研修委員会

第 1 回研修委員会 9 月 7 日 (木) オンライン会議による実施

今年度の教員研修についてニーズ調査結果を踏まえた実施計画、専修学校フォーラムについての検討

(4) (公社) 静岡県職業教育振興会 新任教員研修 8 月 1 日 (火) ～10 日 (木)

(5) 中部七県ブロック協議会第 67 回定期 (石川) 大会 8 月 24 日 (木)

於 ホテル日航金沢

中村徹理事長・校長 (県職業教育振興会 監事)、有賀 (県職業教育振興会 理事) が出席

・開会式

・本会議 令和 4 年度事業報告、大会スローガン説明、事業説明 (文部科学省専修学校教育振興室長、全国専修学校各種学校総連合会参与)

・記念講演 パティシエ・ショコラティエ 辻口 博啓 氏

・閉会式

(6) 専修学校教職員の研修等推進のためのオンラインセミナー 令和 6 年 2 月 2 日 (金)

(7) 職業教育の質向上に向けた取組 ―先進事例から学ぶ『職業教育のマネジメント』

令和 6 年 2 月 19 日 (月)

(7)、(8) とも、主催：株式会社三菱総合研究所

文部科学省委託事業「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」の一環として開催。

### 1 4. 令和 5 年度終業式・卒業証書授与式

令和 6 年 3 月 16 日 (土)、しずぎんホールユーフォニアにて挙行。卒業生の入退場を含め、式典中は基本的にマスクを外し、相互に素顔を見合いながら実施することができた。

以 上